

8. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所株式会社）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (近畿)	◎	家電量販店（企画担当）	・衆議院選挙の結果を受けて、政府の政策により、景気の回復につながると予想される。
	◎	通信会社（営業担当）	・新たな季節を迎えるに当たり、問合せや販売量が3～4月にかけて増加する。
	○	一般小売店〔菓子〕（営業担当）	・3～4月に向けて人の動きが活発になるため、販売量も増える。
	○	百貨店（売場主任）	・日中関係の変化でインバウンド需要の後退が懸念されたが、現状はそれを上回る、国内客の高額品への需要増が下支えとなっている。衆議院選挙の結果にもよるが、当面はこの傾向が続きそうである。
	○	百貨店（販売推進担当）	・衆議院選挙を控え、先が読みにくい状況であるが、消費税減税などの景気浮揚策の実施が期待される。
	○	百貨店（外商担当）	・インバウンド売上は先行き不透明であるが、国内の富裕層には株価上昇や減税の追い風が吹くため、消費マインドが更に高まると予想される。
	○	百貨店（販促担当）	・衆議院選挙後は消費喚起に向けた政策の実施が見込まれ、一時的であっても、少なからず消費意欲が高まることが期待できる。政治、経済共に先行きが不透明であり、予測が難しいものの、情勢が安定すれば高額品の動きも出てくる。ただし、日中関係の問題でインバウンドが前年を下回ることは避けられない。
	○	百貨店（売場統括）	・衆議院選挙以降の為替の安定や、株価の継続的な上昇が期待される。
	○	スーパー（企画担当）	・各自治体の物価対策として、電子マネーやクーポンなどの支援策があり、消費マインドが高まることが期待される。
	○	コンビニ（経営者）	・春頃にはいろいろと環境が変わるために、少しづつでも景気が良くなるように取り組んでいく。
	○	コンビニ（経営者）	・気候も暖かくなるほか、観光シーズンに入って人が動き出すため、季節感のある商品やコラボ商品など、限定商品を多く置いて販売促進を図る。
	○	コンビニ（店員）	・冬の間は来客数が減るため、今が底だとすれば、2～3か月後には客が戻ってくる。
	○	衣料品専門店（店長）	・12月に続き、販売の増加が進まない可能性もあるが、客の間にひっ迫した雰囲気はみられない。衆議院選挙の結果による与党の行方や、今後の賃上げや消費税減税の動きが注目される。
	○	家電量販店（経営者）	・2026年度の補助金制度が浸透することで、販売数の増加が期待される。
	○	家電量販店（人事担当）	・就職や進学の時期が迫り、引っ越しに伴う販売量の増加が見込まれるが、家電の購入チャネルが増加し、競合が増えることによる販売量への悪影響が懸念される。
	○	乗用車販売店（販売担当）	・3月までに多くの企業が決算を迎えるため、駆け込み購入が増加する傾向となる。
	○	乗用車販売店（支店長）	・衆議院選挙の結果により、株価が上昇し、景気も向上くことが予想される。
	○	その他専門店〔ドラッグストア〕（店員）	・物価の上昇を客が受けつつあるなか、衆議院選挙を経て食品関連の消費税率が引き下げられれば、更に期待できる。春闘での賃上げも期待されることから、景気は良くなると予想される。
	○	高級レストラン（スタッフ）	・これから春先にかけて、送別会や合格祝いなどの予約が増える。
	○	観光型ホテル（経営者）	・2～3月の先行予約状況は好調で、団体客の動きも悪くない。
	○	都市型ホテル（客室担当）	・桜のシーズンの予約状況は前年を上回り、順調に推移している。一方、現場では3月1日からの宿泊税の引上げに伴う、客とのトラブルの発生が懸念される。
	○	都市型ホテル（フロント）	・3月中旬から4月初旬にかけては、桜のシーズンでもあり、特に不安視はしていないが、政治情勢に大きく左右される。インバウンドは今後も不安定要素が多い一方、国内客は衆議院選挙が終了すれば落ち着いてくる。

○	通信会社〔貴金属オーナー〕(経営者)	・引き続き、貴金属相場が高水準で推移する傾向に変化はない。
○	通信会社(社員)	・年間で最大の商戦を迎える、新規契約のほか、他社からの乗換えが多くなる。
○	通信会社(社員)	・月々の負担が少なくなるコースを新たに始めたところ、その効果が出てきている。
○	美容室(店員)	・卒業式、入学式シーズンのため、今月以降は客の増加が見込まれる。
○	その他サービス〔マッサージ〕(スタッフ)	・オイルマッサージのため服を脱ぐので、暖かくなれば来客数が増加する。特に今月は急に寒くなったため、来客数は少ない。
○	住宅販売会社(経営者)	・販売価格の転嫁も、少しずつ進められるようになっている。
○	住宅販売会社(経営者)	・衆議院選挙の結果にもよるが、今後の政策に期待を持つようである。
○	その他住宅〔住宅設備〕(営業担当)	・仕事のない状況が考えられないほど、忙しくなりそうである。作業員には休日出勤を依頼するため、社員の収入も改善しそうである。
□	商店街(代表者)	・気候も厳しい時期であるため、しばらくは芳しくない状況が続く。
□	一般小売店〔鮮魚〕(営業担当)	・中国からのインバウンドの減少が続けば、回復はかなり先になるおそれがある。
□	一般小売店〔化粧品〕(経営者)	・衆議院選挙などの国政選挙が行われる月は売上が厳しく、中国からのインバウンドも2月は期待できないため、売上が大きく伸びることはない。ただし、春の新商材については、1月後半に販売した商品が好評なことから、全体としては変わらないと予想される。食料品の消費税減税が予想されるなか、食料品以外の動きは不透明であるが、基礎化粧品の売上は安定的な推移となる。一方、メイク関連商材については、低価格化が進むことが予想される。
□	一般小売店〔手ぬぐい〕(経営者)	・年始は動きがどうしても鈍くなる。
□	一般小売店〔野菜〕(店長)	・衆議院選挙の結果がどうなるかで、今後の流れが変わってくる。
□	一般小売店〔呉服〕(店員)	・子供の祝い事のほか、葬式でも、呉服離れが進んでいる。
□	一般小売店〔花〕(店員)	・物価の上昇が続き、生活必需品ではない物への購買意欲が低下しているため、今と同様に厳しい状況が続きそうである。
□	百貨店(売場主任)	・先行きの見通しが立たないなか、輸入品の値上げ前には一時的に高額品が売れるものの、多くの客は様子見の動きであるため、積極的な購入はみられない。
□	百貨店(企画担当)	・中国からの航空便の減便は、3月で一旦落ち着くと考えていたが、更に延長される可能性も大きく、今後の見通しが立たない。
□	百貨店(広報担当)	・国内売上はある程度堅調な推移が予想されるが、免税売上は低迷が続くと予想される。
□	百貨店(サービス担当)	・バレンタインデー商戦では催事会場を拡大して展開することで、来客数や売上は前年実績の確保が可能となる。また、防寒具の展開を充実させるとともに、春物商材の早期展開を行うことで、好調の維持を図る。
□	百貨店(外商担当)	・衆議院選挙後に予想外の政治的な変化が生じ、それに伴う経済的な悪影響が発生しない限り、現状のままで予想される。一方、海外特選ブランドの価格上昇による、消費マインドの低下が心配される。
□	百貨店(売場マネージャー)	・現状が底と認識しているが、上向く要因は多くないため、今の景況感が続くと予想される。
□	百貨店(マネージャー)	・インバウンドの動きには、やはり中国の動向が大きく影響するなか、今後数か月の動向はこの2～3か月と大きく変わらないと予想される。
□	百貨店(管理担当)	・インバウンド売上は回復までに相当な期間を要するなか、それに代わる代替策もなかなか見当たらず、しばらくは我慢となる。

<input type="checkbox"/>	百貨店（マネージャー）	・全体的な流れに変化はないと予想される。経済政策による物価の安定や様々な制度の見直しは進むものの、消費マインドとしては、選択消費や節約志向が染みついているため、堅調な動きが続きそうである。一方、インバウンド消費は空港での国際チャーター便の就航効果がまだ続くと予想される。
<input type="checkbox"/>	百貨店（マネージャー）	・年末年始を始めとする、ハレの日需要は好調を持続しており、3～4月のお祝い需要も好調が続くと予想される。
<input type="checkbox"/>	百貨店（営業推進担当）	・バレンタインデー商戦や物産展などの集客イベントは好調であるが、景気全体は踊り場的な状況である。
<input type="checkbox"/>	百貨店（商品担当）	・国内の状況に関しては、衆議院選挙の結果次第で、消費税減税や外国人政策、景気対策、外交戦略などが変わるため、予想は困難である。
<input type="checkbox"/>	スーパー（経営者）	・衆議院選挙の結果で、市場の動きが大きく変わる可能性はあるが、直近では大きな変化はないと予想される。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・衆議院選挙後の政策次第で環境は変わるが、政策が実現するまでに時間が掛かるため、当面は今の状況が続くと予想される。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・政局の変化により、物価対策や減税策がどう変わるかが不透明である。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店員）	・春野菜の価格が少し下がってくれれば、客の様子も変わりそうである。
<input type="checkbox"/>	スーパー（企画担当）	・来客数も安定しており、食料品を中心大きな変化はないと予想される。
<input type="checkbox"/>	スーパー（経理担当）	・衆議院選挙の結果次第で、食料品を対象とした消費税減税が行われる見通しである。そのため、物価の低下に対する期待が出てくる。ただし、日本人の特性として消費が先行して改善することは考えにくく、当面の消費マインドは節約モードが続くと予想される。
<input type="checkbox"/>	スーパー（販売促進担当）	・しばらくは現状のままで予想されるが、衆議院選挙の結果による、株価の上昇や景況感の改善が期待される。
<input type="checkbox"/>	スーパー（企画）	・物価の上昇は徐々に落ち着いてくる見通しであり、景気は急に回復することも、悪化することもなく、現状維持が続くと予想される。
<input type="checkbox"/>	スーパー（社員）	・今後も、当面は来客数の増加が難しい状況が続くものの、前月からのガソリン価格の低下で、車での来客数の増加が期待できる。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・しばらくは来客数の減少傾向が続くものの、商品価格の改定はまだ続いているため、客単価は上昇傾向にあるため、売上は今の水準が維持できそうである。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店員）	・しばらくはこのままの状態で推移すると予想される。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店員）	・今後も景気の回復につながる要因が見当たらない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店員）	・このままインバウンドが減り続けることはないと予想される。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	・以前は悪くなる雰囲気しかなかったが、今年に入ってから前向きに考える余地が出てきている。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店員）	・気温の変動があれば多少は良くなるはずであるが、近年の物価上昇によって需要の構造自体が変わっている。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店員）	・現状から大きくは変わらないが、衆議院選挙後の政策の動きによって変化が出てくる。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（営業担当）	・インバウンドの減少や物価の上昇による影響は、確実に出てくる。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・需要と供給のバランスが取れている間は、現状維持が可能と予想される。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・最終的に消費者の懐が暖かくなれば、消費意欲も高まる。衆議院選挙の結果がどうなろうとも、この事実は変わらない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・自動車の整備は順調であるが、新車販売は芳しくない。客の来店はみられるものの、なかなか成約までたどり着かない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・国内は急に始まった衆議院選挙で、消費に関心が向かう雰囲気はない。海外でも、米国の関税や米国大統領の言動で、市場が安定していないため、しばらく景気は現状維持となる。

<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（役員）	・当ブランドは新型モデルの発売が半年後の予定であるため、それまでは現状が続く見込みである。自動車業界全体では、ガソリン暫定税率廃止や環境性能割の廃止等で、若干は需要が増える要素はあるものの、新車への乗換えには至らず、大幅な販売台数の増加にはつながらない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（営業企画）	・為替相場が乱高下するなか、先行きが見通せない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（営業担当）	・引き続き、様子見の状況が予想される。自動車税の環境性能割の廃止を前にした、登録控えの動き次第となる。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（販売担当）	・法改正などの影響で、売上を計上するタイミングが変わるべきもあるが、基本的には現状の推移が続く。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔食品〕（経営者）	・衆議院選挙などの影響で、景気は良くならない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経理担当）	・物価の上昇により、景気が良くなっているように見えるが、実際にはコスト負担が増えており、実感としての景況感に変化はない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔医薬品〕（管理担当）	・食料品や日用雑貨などの生活必需品は好調を維持しているが、化粧品や化粧雑貨などの売上に大きな増加は見込めない。感冒薬などの医薬品や衛生用品の売上が伸び悩んでいるため、例年よりも苦戦する結果となっている。客単価は上向いているものの、来客数や買上点数に大きな変化は期待できない。
<input type="checkbox"/>	その他小売〔インターネット通販〕（オペレーター）	・例年この時期に売れるマスクもそれほど動いておらず、他の注文も増える見込みがない。
<input type="checkbox"/>	高級レストラン（企画）	・中国からのインバウンドの減少を、国内客の増加でカバーする傾向は、しばらく続くと予想される。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	・消費者の節約志向は、物価に見合った安定的な収入が得られることで、緩和が進んでいく。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（店主）	・早く物価が安定してほしい。コロナ禍以降、夜間の客の動きが悪くなり、家庭で過ごす動きが増えている。寒さなどの気候要因にも左右される。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（企画）	・物価の上昇が続いている、原材料費の推移は厳しい状況が続いている。雇用環境が良くなれば、サービス業での人員確保は厳しくなるため、人件費への影響も出ている。こうした状況のなか、先行きは全体的に現状維持が予想される。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（店員）	・物価上昇の影響もあり、前年よりも来客数がかなり減少している。政府の特別な対策の効果がない限り、状況は良くならない。
<input type="checkbox"/>	その他飲食〔ジャズバー〕（店員）	・今後も更なる物価上昇が続ければ、消費者の考え方も変わってくる。
<input type="checkbox"/>	その他飲食〔ファーストフード〕（店員）	・大幅な景気回復の動きがなければ、現状は大きく変わらない。現状は中国からのインバウンドが減っているため、販売量が減少している。
<input type="checkbox"/>	その他飲食〔自動販売機（飲料）〕（管理担当）	・年末調整での還付の増加は、一時しのぎでしかない。毎月の所得税も少し減ったが、注意していなければ気付かない。
<input type="checkbox"/>	その他飲食〔洋菓子〕（管理担当）	・今後も駅ナカの改裝工事が計画されており、このままではプラスの要素が見込めない。さらに、工事に伴う動線の変化で、現状よりも悪化することが懸念される。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル（スタッフ）	・3月以降は通常の価格を維持できそうであり、欧米からの団体客で稼働率を確保しつつ、国内客で底上げを図る形となる。一方、中国からの団体客の回復は見通しが立っていない。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル（客室担当）	・今後はアジア圏からのインバウンドの減少が見込まれる。欧米からの需要を狙っているが、反応は薄い。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル（管理担当）	・手取りや給料の増える要因が見当たらない。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（支店長）	・季節による変動があるため、先行きが見通せない。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（役員）	・今後はゴールデンウィークに向けた需要が見込まれるもの、インバウンドの増加による宿泊料金の高騰や、物価上昇の影響もあり、国内旅行は現状維持か減少傾向が続く。その一方、海外旅行は増加傾向にあるが、大幅な伸びは見込めず、全体としては特に変化のない状況が予想される。

□	旅行代理店（支店長）	・新たなイベントなど、旅行マインドを喚起する材料が余り出てこない。海外旅行費用の高騰も、一旦は見慣れた状況となつたが、客層が限られる形となっている。今のところは、現状を大きく打開する要素がない。
□	通信会社（役員）	・携帯電話のキャリアショップでは、一定の端末の買換え需要が見込まれる。
□	観光名所（企画担当）	・大阪・関西万博の会場に近かつたこともあり、閉幕後は当エリアに足を運ぶ客が減っている。
□	遊園地（経営者）	・政局の不安定さに加え、海外情勢も不透明であり、インバウンドの減少が懸念される。
□	競輪場（職員）	・正直なところ、先行きはどうなるのか分からない。
□	競艇場（職員）	・賃上げや物価の上昇、大阪・関西万博の閉幕、海外情勢の変化に加え、衆議院解散に伴う政治的な影響など、様々な要素がどのように作用するかは、見極めが難しい。
□	その他レジャー施設〔イベントホール〕（職員）	・業界全体は順調に動いているが、物価の上昇が避けられない一方、すぐには価格転嫁ができない状況から、厳しい状況が続く。
□	その他レジャー施設〔球場〕（経理担当）	・3月は野球の国際試合や、4月はプロ野球の公式戦が予定され、多数の来場者が見込まれる。
□	その他レジャー施設〔飲食・物販系滞在型施設〕（企画担当）	・日中関係の改善はまだ見込みにくいため、インバウンドの個人客の減少は続くと予想される。
□	その他住宅〔情報誌〕（編集者）	・不動産の高額物件では、海外からの購入検討の動きが減り始めているが、影響はまだ限定的である。
▲	一般小売店〔時計〕（経営者）	・2～3か月先に、政治がどの程度安定しているかは見通せないが、現在の物価上昇などが大きく変わることはない。先行きは混とんとしたイメージしかもてず、すぐに景気が良くなることはない。
▲	一般小売店〔衣服〕（経営者）	・物価の上昇が収まらないなか、売上は徐々に減少している。賃金が物価上昇を上回る勢いでは増加せず、消費者は日々の生活のやりくりに苦慮している。衆議院選挙後の物価対策も不透明であり、その他に景気の上昇につながる動きは期待できないため、更に景気は悪くなることが懸念される。
▲	一般小売店〔書籍〕（管理担当）	・業界の傾向として、悪くなる動きが予想される。
▲	百貨店（宣伝担当）	・このままインバウンドの減少が続けば、春節商戦の苦戦が予想される。また、ラグジュアリーを中心とした価格改定前の駆け込み需要もなくなるため、厳しい状況になる。
▲	百貨店（商品担当）	・来月中旬の春節商戦は、中国の渡航自粛により苦戦が予想される。東南アジアや欧州からのインバウンドは増えているが、中国からのインバウンドによる売上は大きい。バレンタインデー商戦もカカオ価格の高騰などの物価上昇により、需要の動向は不透明である。当面は、ミラノ・コレティナオリンピックやWBC（ワールド・ベースボール・クラシック）などのイベントによる消費マインドの改善や、新政権の積極財政による企業業績の改善に期待している。
▲	スーパー（開発担当）	・衆議院選挙となり、景気対策もままならないまま、時間だけが過ぎていく。
▲	スーパー（企画）	・実質賃金が増えておらず、消費者の節約志向は続き、低価格品を求めて買い回る動きが増えている。食料品の減税が決まれば需要は上向くものの、1度染み付いた節約志向は簡単には拭えない。
▲	コンビニ（経営者）	・商品価格や人件費の改定など、企業にプラスとなる材料が見当たらない。
▲	コンビニ（経営者）	・飲食店の客足が悪いなど、商店街では来客数がかなり減っている。自転車の飲酒運転への規制が厳しくなり、出歩く人が減少傾向にある。
▲	衣料品専門店（営業・販売担当）	・為替の影響や、クールビズの広がりによる影響で、悪化傾向が見込まれる。
▲	その他専門店〔宝飾品〕（販売担当）	・予想以上の地金相場の高騰により、実用性のある装飾品よりも、資産目的での商品や地金の購入が増える可能性が高く、全体としては楽観できない。
▲	その他小売〔ネット通販〕（管理担当）	・今後も値上げの依頼が増えるなか、単価が高くなることで、買い控えの傾向が続くと予想される。

	▲ 一般レストラン（経営者）	・物価の上昇が続き、仕入コストの高騰につながる。米の価格もなかなか下がらず、消費税減税の話題が出ているが、インボイス制度の登録を行っている飲食店が今後どうなるのか、不安要素しかない。
	▲ 観光型旅館（経営者）	・予約の入込が、前年比で約10%悪化している。
	▲ 観光型旅館（経営者）	・大雪の予想もあり、予約の進捗が鈍くなっている。
	▲ タクシー運転手	・衆議院選挙に伴い、タクシーの利用率は上昇が見込まれる。ただし、賃上げの動きと各種料金値上げの動きとのギャップは大きい。
	▲ 通信会社（経営者）	・今後も円安の継続が予想される。
	▲ ゴルフ場（支配人）	・予約状況を考慮すると、現状は余り良くない。予約は徐々に増えると予想されるが、当面はやや悪い状態が続きそうである。
	▲ 美容室（店長）	・寒い時期は予約が入りにくくなるが、今年は特に寒くなることが予想されるため、見通しは厳しい。
	▲ その他サービス〔学習塾〕（スタッフ）	・単価の上昇による影響も、今後出てくると予想される。
	▲ 住宅販売会社（企画担当）	・前年以上に厳しさが増しており、良くなる要素が見当たらない。
	▲ その他住宅投資の動向を把握できる者〔不動産仲介〕（経営者）	・金利の上昇のほか、国際情勢の不安定化などで、先行きに不安感がある。
	▲ その他住宅〔展示場〕（従業員）	・建築資材価格の高騰による住宅価格の上昇に加え、今後の金利上昇の影響で、消費マインドは更なる低下が見込まれる。
	× 衣料品専門店（経営者）	・物価対策の効果は限定的である。
	× 家電量販店（店員）	・競合企業の増加による購入客の分散に、価格の高騰も重なり、更に悪化することが予想される。広告での価格訴求に頼った販売促進にも限界があり、客の流出を防止し、新規客の獲得を重視した対応を進める必要がある。
	× 住関連専門店（店長）	・衆議院選挙などの国政選挙が実施される時期には、来客数や案件数が減る。円安傾向も止まる気配がないため、輸入関係では引き続き厳しい状況が続きそうである。
企業動向 関連 (近畿)	◎ 木材木製品製造業（経営者）	・当社のような輸入販売業には、現政権の積極財政政策による円安傾向が続くなか、次なる対策を考えなければならない状況にある。既存の仕入先よりも、条件の良い先を掘り起こす努力を続けていく。一方、現在の事業とは異なる成長性の高い事業もあるため、ここに注力することで新たな売上増につながる。
	◎ 輸送用機械器具製造業（経営者）	・ここ2年は景気の良くない状態が続いているが、取扱製品が需要期を迎えることで、現在と比べて良くなる。
	○ 食料品製造業（営業担当）	・気温が上昇し、春の行楽シーズンに入るため、飲料の売上はやや良くなる。
	○ 一般機械器具製造業（経営者）	・現在の引き合いが、成約につながることが期待できる。
	○ 電気機械器具製造業（経理担当）	・現状の受注の内示金額は、おむね上向きとなっている。
	○ 建設業（経営者）	・年度末に向けて、受注や問合せの増加が予想される。
	○ 輸送業（経営者）	・けがで休んでいた社員が2月から復帰するため、最近は断っていた仕事が受けられるようになる。
	○ 輸送業（営業担当）	・旅行カバンを持った人が増えている。中国からのインバウンドが減った分、国内客による旅行が盛んになっている。
	□ 食料品製造業（従業員）	・衆議院選挙では、消費税減税を多くの党が公約にしているが、当社の商品に影響が及ぶまでには時間が掛かる。
	□ 食料品製造業（管理担当）	・変動要因が見当たらない。
	□ 繊維工業（総務担当）	・販売方法を見直さない限り、コスト高の状態が続く。ネット販売など、直接販売への転換が求められている。
	□ パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・取引先によって、受注量の好不調が分かれている。
	□ 化学工業（経営者）	・景気の良い取引先もみられるが、景気の悪い取引先は極端に悪く、回復の兆しもみられない。

	□ プラスチック製品製造業（経営者）	・止まっていた案件が少し動き出してきた。現状よりも、必要な物を必要な量だけ作るという堅実さは出てきたが、見通しは明るくない。
	□ 金属製品製造業（経営者）	・衆議院選挙の結果により、動きが変わる。
	□ 一般機械器具製造業（設計担当）	・株価の動きをみれば、景気は上向いているが、消費者の感覚では、物価上昇と賃金上昇のバランスが良くないため、厳しい状況が続くと予想される。
	□ 電気機械器具製造業（宣伝担当）	・今の状況から変化する要素が、余り見当たらない。
	□ 建設業（経営者）	・業績好調の取引先からは、設備投資の案件も増えている。ただし、建設資材価格や技能労務者の賃金が高騰するなか、計画段階との予算のかい離が不安である。
	□ 建設業（経営者）	・食料品だけではなく、家電や自動車、住宅関連など、高額商品の消費税率を下げなければ、今後は更に景気が冷え込むと予想される。
	□ 輸送業（サービス担当）	・天候や衆議院選挙などの状況に左右されるが、消費動向が大きく変わる要素はなく、荷物の個数にも変化がないと予想される。
	□ 輸送業（営業担当）	・引っ越しシーズンに入るが、例年どおりの動きとなりそうだ。
	□ 金融業（営業担当）	・取引先からは、今後の受注量も特に変わらないという声が多い。
	□ 広告代理店（営業担当）	・年度末までは、足元の状態が続きそうである。
	□ 司法書士	・前月と今月で事件数に変化はなく、今後も変わらないと予想される。
	□ その他サービス〔自動車修理〕（経営者）	・物価が上がり、材料費も上がるなか、それに伴う価格転嫁が追いかからない。
	□ その他サービス業〔店舗開発〕（従業員）	・物価上昇の影響は今後も続く一方、直近の傾向である、客単価の低下と来客数の微増傾向は続くことから、悪影響自体は軽微と予想される。
	□ その他非製造業〔機械器具卸〕（経営者）	・値上げの通知を行っているため、売上は増えるものの、利益は減少しているため、增收減益傾向となる。
▲	化学工業（製造担当）	・研究用試薬業界では、グローバル市場、国内市場共に堅調であり、需要は強いが、品質規制の強化が進んでいるほか、サプライチェーン上のリスクも小さくない。
▲	化学工業（企画担当）	・年末年始は食料品の最需要期であり、販売量、価格共に好調な推移となつたが、今後は需要が落ち着くことが予想される。
▲	窯業・土石製品製造業（管理担当）	・ガソリン暫定税率廃止が奏功しているものの、物価の上昇は相変わらず続いている。衆議院選挙もあって不安定な状況であり、先行きはやや悪くなると予想される。
▲	その他製造業〔履物〕（団体職員）	・市場の構造変化や物価の上昇、為替の変化など、プラスになる要素が見当たらない。
▲	輸送業（商品管理担当）	・例年2～3月は酒類や家具の売上が減少するため、今年も厳しい動きとなる。
▲	金融業〔保険〕（経営者）	・衆議院選挙の争点でもあるが、人口の減少や内需の落ち込みといった、将来的な不安を払拭できないとみられる。
▲	不動産業（営業担当）	・実店舗の撤退は今後も続くと予想される。Web販売が主流となり、実店舗の存在意義がなくなってくる。それに伴って不動産の価値も下がるため、景気が悪くなる。
▲	経営コンサルタント	・これ以上の物価上昇は、中小企業の経営の圧迫につながることが懸念される。
▲	その他サービス業〔受託調査〕（調査担当）	・物価の上昇が収まる気配がみられないほか、人手の確保のために人件費を上げざるを得ず、更に利益が圧迫される状況が続く。
×	通信業（管理担当）	・物価の上昇が非常に厳しい。
×	その他非製造業〔電気業〕（営業担当）	・物価対策と円安対策を講じる必要がある。
雇用 関連 (近畿)	◎ *	*
	○ 人材派遣会社（役員）	・4月の採用に向けた求職者の動きが本格化してきたほか、企業の旺盛な採用意欲も続くことが期待される。
	○ 人材派遣会社（営業担当）	・3月末での転職を考えている層が、2月以降に本格的に動き出す可能性が高い。

○	職業安定所（職員）	・例年1～3月は求人数が増加するため、今年も期待される。官公庁の求人のように、この季節に急激に増加する職種があるため、求人数や求職者数、採用件数の増加が予想される。
○	民間職業紹介機関（営業担当）	・春夏のインターンシップ合同企業説明会や、サイト内の広告掲載が増えるという点では、景況感が良くなる見込みである。
○	民間職業紹介機関（営業担当）	・年間を通して、1番の繁忙期が3月であるため、求人数、求職者数共に増加する。
□	人材派遣会社（営業担当）	・自動化やDX対応などで、人が対応すべき業務が減っている。それにもかかわらず、就業中の人材の時給改定には積極的ではない印象がある。
□	人材派遣会社（支店長）	・衆議院選挙の結果次第であるが、状況が好転することはない。
□	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・関西の地元企業による広告宣伝費用をみると、この2～3か月の動きは、事前の見込みとほぼ変わらない。
□	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・衆議院選挙が行われるが、選挙の結果にかかわらず、数か月間で様々な問題への対応が進むことはない。
□	職業安定所（職員）	・物価上昇や人件費の負担増に関する声もあるが、人材の確保に向けた求人の動きもあるため、大きくは変わらない。
□	職業安定所（職員）	・インバウンドによる観光関連のプラス材料はあるものの、他業種では物価の上昇や人手不足がマイナス要因となっており、全体的な回復は見込めない。
□	職業安定所（職員）	・求人企業に人件費の上昇に伴う影響や、国際情勢の変化による影響を確認しているが、今のところは求人数の減少につながる動きはない。ただし、求人を募集していない周辺の事業所では、売上の低迷などで事業廃止の動きもみられるため、今後の動向には注意が求められる。
□	民間職業紹介機関（営業担当）	・この3か月は、特段の変化がみられない。
□	学校〔大学〕（就職担当）	・衆議院選挙が行われるなか、今後の政権運営は物価対策や経済政策次第となるが、今のところは不透明である。
□	学校〔大学〕（就職担当）	・求人の動きには、好材料、悪材料共に見当たらない。
□	学校〔大学〕（就職担当）	・医療機関全体では収益が伸びておらず、賃金の上昇は他業界に比べて緩やかである。消費税率の引下げや診療報酬の改定で、医療業界にどのような影響が出るか注目されるが、食料品価格の上昇や金利上昇という状況の下では、改善の実感はほとんどない。
□	その他雇用の動向を把握できる者	・中国の渡航自粛による先行き不透明感から、求人の動きには弱さがみられる。
▲	人材派遣会社（管理担当）	・中国からの渡航自粛が解除されない限り、現在の厳しい情勢が続く。
▲	民間職業紹介機関（職員）	・年度初めの4月は、入札などの関係で公共工事が動かないため、建設業の求人数は減少が予想される。
×	—	—